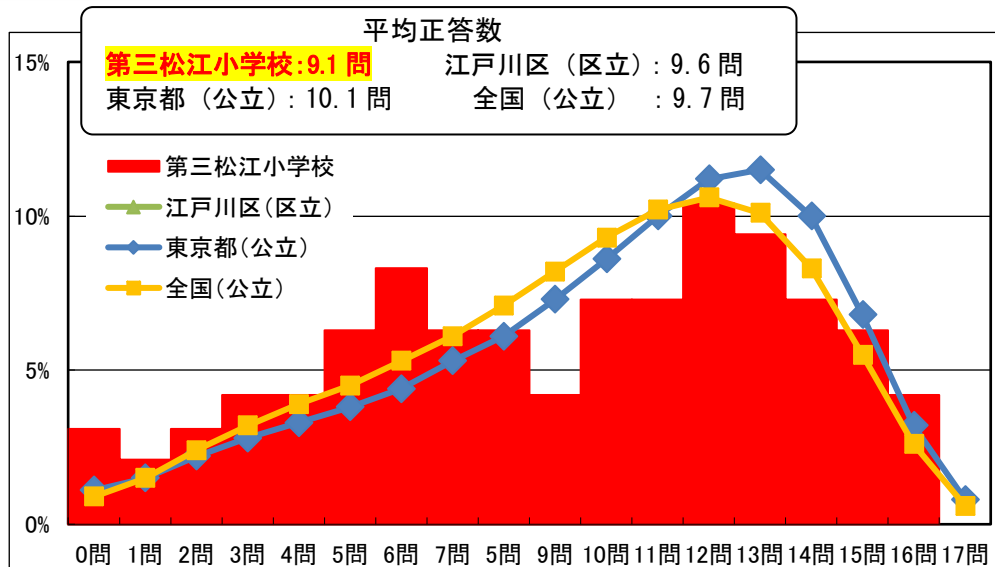


令和7年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【理科】 第三松江小学校

正 答 数 分 布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

理 科	上位 ←		→ 下位	
	A 層 13～17 問	B 層 10～12 問	C 層 7～9 問	D 層 0～6 問
第三松江小学校	27.2	25	16.8	31.3
江戸川区 (区立)	27.5	20.2	22.8	29.5
東京都 (公立)	32.3	29.8	18.7	19.1
全国 (公立)	27.1	30.1	21.4	21.7

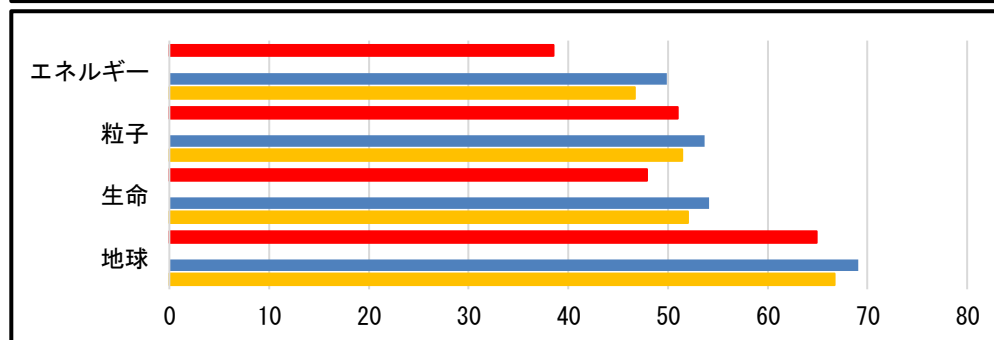
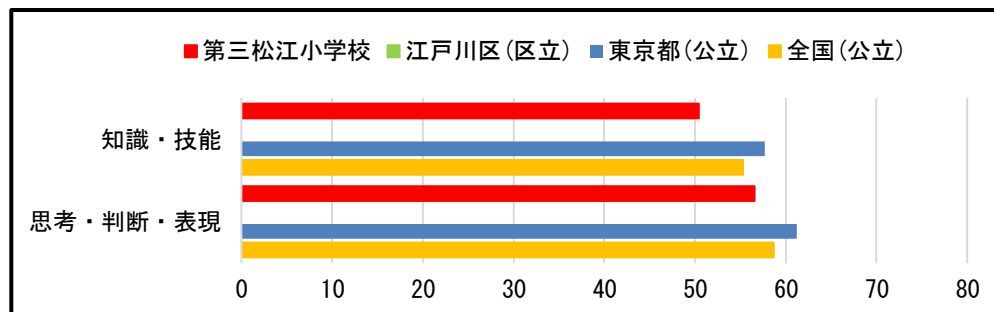
【平均正答率の差】

第三松江小学校	54%
江戸川区 (区立)	56%
東京都 (公立)	60%
全国 (公立)	57.1%
都との差	-6 ポイント

%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都 (公立) のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

- ・D層が最も多い。AB層とCD層がほぼ拮抗している。
- ・すべての領域において都の平均を下回ったが正答率を1問上げるだけで全国平均に近づく。
- ・「知識・技能」では、磁石・電気についての問題が弱い。
- ・「思考・判断・表現」に関しては、授業で実験や観察をもとに自分の考えをもち、考察をする経験を積ませる。
- ・どの単元においても問題に対して予想を立てさせて、活動に取り組みさせていくように授業を行っていく。
- ・その中で自分や友達の考えをもとに議論したり、比較検討したりする時間を設定する。
- ・自分なりの考えをもたせて、無回答の問題を減らす。